有名な夏の歌

１９７０年代

１．１位『海辺に行こう』キーボイス 1970 年

グループサウンドのキーボイスのヒット曲。ボサノバのリズムに乗せてエレキギターで軽快な歌です。歌詞は「星がふりそそぐ海辺に行こう。甘い愛をささやこう」とロマンチックです。

２．８位『鯨狩り』宋昌植 1975 年

この歌は、崔仁浩の小説『馬鹿たちの行進』（바보들의 행진）を映画化した時に挿入歌として歌われた。映画の中で「身体検査に落ちて入隊できない主人公が自殺する場面」で流されたので禁止曲になった。（朴燦鎬著「韓国歌謡史」Ⅱ1945-1980Ｐ361 より引用）

私は、自転車に乗り崖から飛び降りる場面を思い出されるが、自由の象徴である鯨を狩りに行く、という話が「夏の歌」と解釈されるのには驚いた。私もこの歌は軽快なので好きです。

１９８０年代

３．９位『夏』チンゴムタリ（飛び石橋）1982 年

1978 年海辺歌謡祭優秀賞を受賞した曲です。漢陽大学フォークグループであるチンゴムタリ（飛び石橋）が歌いました。当時、フォークギター演奏者として有名であった李正善（イジョンソン/이정선）が作詞作曲しました。

４．３位『旅行に行こう』趙容弼 1985 年

1985 年４月 10 日に発売された趙容弼７集に収録された歌です。山や渓谷にリュックを背負って旅行する。軽快なハードロックで国民歌謡と呼ばれるほどテンポも難しくなく歌詞も容易くメロディーも楽しく多くの人が好きな夏の歌です。若手歌手のイスンギ（이승기）が 2008 年趙容弼の了承を得てリメイクしています。

１９９０年代

５．４位『夏の話』DJDOC 1996 年

1996 年７月１日発売。大韓民国代表ダンスグループ DJDOC３．５集「Summer」のタイトル曲。真夏のビーチで長い髪の女性と恋に落ちて忘れられずにソウルに帰っても探し続けたが見つからなかった。そんな自分を慰めようと友達が翌年海に誘ってくれた。行ってみると、なんと彼女は友達の恋人になっていた悲劇の歌。
歌詞とは裏腹に楽しいダンスミュージック。

６．２位『海辺の女人』クール（cool）1997 年

男２名女１名の３人組グループ。3.5 集 Summer Story のタイトル曲。最初に聞こえてくるのは、ビートルズの『This Boy』。１番で倦怠期のカップルが愛を取り戻そうと夏の海に行く。Rap 部分で男は夜に“海辺の女人”と出会い愛を語る。２番は恋人の女性が男性を探す。夜が明けると“海辺の女人”は立ち去る。というデタラメな話。

２０００年代

７．７位『海の王子』パクミョンス 2000 年

上述のとおり

８．10 位『かき氷』尹鐘信 2001 年

夏になったのでかき氷を食べよう！作り方やチェリーを上に載せて、いつまでも溶けないで！愛しています！とか訳の分からない歌です。単純なリズムだが中毒性の爽快感は感じる。

９．６位『夏よ！お願い』インディゴ 2002 年

男性デュオのデビュー曲。「夏よ！お願い。僕の恋愛を成就させて」という意味の歌です。英語の歌詞満載です。スローなハワイアン風で落ち着いたおもしろい曲です。海辺で長い髪のビキニを着た Beautiful Lady に出会い、白い砂浜に座り恋に落ちるおなじみのパターンの歌です。

10．５位『冷麺』パクミョンス＆チェシカ 2009 年

MBC の TV 番組『無限挑戦』の「オリンピック大路デュエット歌謡祭」でパクミョンスと少女時代のジェシカがミョンカドライブ（명카드라이브）という名前のデユオで歌い人気を得た歌です。

歯にしびれる。と冷麺のしびれるほどの冷たさや麺のシコシコする硬さを強調して、それでも冷麺（ネンミョン）が好き。という意味と夏の海辺で初めて会って恋に落ちた相手が冷たい顔（冷面・ネンミョン）。と二通りの意味を持たせたが、振付けで麺を食べる動作があり実質的には冷麺を宣伝する歌と取られました。　　（終り）